

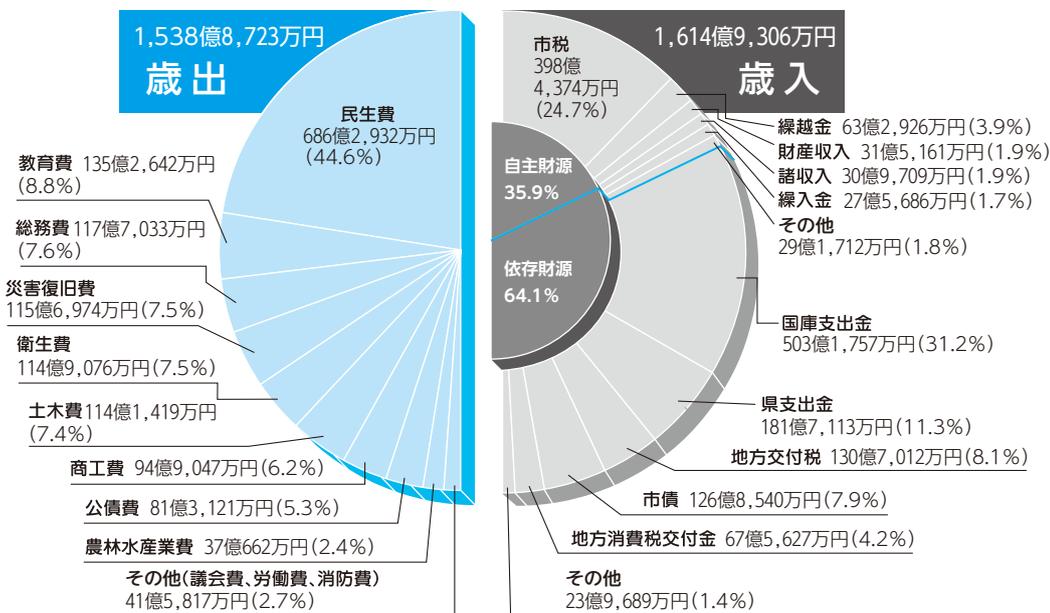
令和2年度決算の
あらましをお知らせします

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症対策を最優先に「スピード」と「実行」でしっかりと取り組みました。また、10年目を迎えた東日本大震災および原子力災害からの復興事業や「ひと・暮らしいきいきふくしま」「産業・まちに活力ふくしま」の政策目標を実現するための事業などにも取り組みました。

新型コロナウイルス感染症対策事業により、令和2年度一般会計の決算額は前年度を上回り、歳入総額が1,614億9,306万円、歳入総額が1,614億9,306万円、歳出総額が1,538億8,723万円となり、差引き76億583万円になりました。ここから令和3年度へ繰り越した事業の財源21億8,900万円を差し引いた実質収支額は、54億1,683万円の黒字決算となり、引き続き健全な財政運営に努めました。

主な事業は、次のページをご覧ください。

一般会計歳出総額 1,538億8,723万円



特別会計・公営企業会計の収支決算

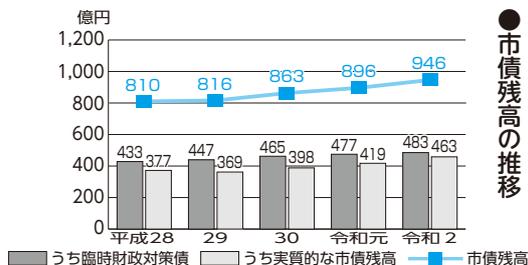
会計区分	歳入	歳出
国民健康保険事業	244億1,012万円	224億6,929万円
飯坂町財産区	2億995万円	9,173万円
公設地方卸売市場事業	2億6,397万円	2億248万円
土地区画整理事業	1億3,866万円	1億3,702万円
介護保険事業	269億2,326万円	265億134万円
庁舎整備基金運用	100万円	100万円
後期高齢者医療事業	37億1,091万円	36億9,311万円
青木財産区	1,377万円	71万円
工業団地整備事業	4億3,285万円	4億3,285万円
母子父子寡婦福祉資金貸付事業	2,863万円	1,071万円
計	561億3,312万円	535億4,024万円

公営企業会計	水道事業	
	収益的収入	収益的支出
水道事業	78億1,562万円	70億2,008万円
	資本的収入	資本的支出
下水道事業	10億1,913万円	32億4,396万円
	78億7,627万円	67億7,799万円
排水事業	40億6,816万円	70億5,852万円
	1億5,987万円	1億5,959万円
農業集落	7,220万円	1億3,004万円



●使われたお金の内訳

一般会計を市民1人当たりで見ると?



市債残高の推移

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症の感染防止と社会経済活動の回復の両方を図るため10回の補正を行い、「感染防止対策」「市民生活支援」「地域経済対策」「新しい生活様式」に対応した社会の形成に取り組みました。



- PCR検査事業……………2億6,444万円
- 医療体制の整備……………1億3,955万円
- 特別定額給付金給付事業……………279億3,307万円
- 子育て世帯・ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業……………7億4,618万円
- ふくしま市民生活エールクーポン事業……………37億1,023万円
- 事業者営業継続支援事業・飲食店における感染防止強化……………6億9,572万円
- 学生臨時就労機会創出事業……………1,031万円
- 新たなビジネスモデル創出支援事業……………5,377万円

ひと・暮らし いきいきふくしま

子どもたちのための良好な環境の整備をはじめ、市民の健康づくりや高齢者の元気づくり、市民の安全安心の確保に取り組みました。



- 待機児童対策推進パッケージ……………1億6,598万円
- 未来に輝く！ふくしまっ子プロモーション事業……………745万円
- ICT教育フューチャービジョン推進関連事業……………9億8,886万円
- 健都ふくしま創造事業……………2,409万円
- 除去土壌搬出等推進事業……………100億8,169万円
- 災害対策オペレーションシステム構築事業……………1億754万円
- 水素社会実現推進事業……………500万円
- 令和元年台風第19号関連事業……………20億5,707万円

産業・まちに 活力ふくしま

産業・観光の振興をはじめ、まちのにぎわいと活力の創出に取り組みました。



道の駅ふくしま(令和4年春開業予定)

- 古閑裕而を活かしたまちづくり事業……………2億2,790万円
- 地域振興施設「道の駅」整備事業……………10億8,679万円
- 新規創業者等支援事業……………389万円
- スイーツ・プレミアム事業……………122万円
- 風評対策・果実等プロモーション事業……………1,028万円
- 鳥獣被害対策強化事業……………5,587万円
- 新まちなか広場整備事業……………3,203万円
- 地域公共交通活性化事業……………159万円
- 中央市民プール整備事業……………3億2,524万円

風格ある県都ふくしま

「風格ある県都を目指すまちづくり構想」に基づく中心市街地と公共施設の再編整備を進めるとともに、広域連携の推進、歴史・文化と次世代環境が調和したまちづくり、移住・定住の推進に取り組みました。



写真美術館(令和3年5月グランドオープン)

- 震災から10年、福島からエール発信事業……………2,492万円
- 福島駅東口地区市街地再開発事業……………1億4,960万円
- 五老内町地区暮らし・にぎわい再生事業……………4,950万円
- ふるさと納税促進事業……………3億8,392万円
- シティセールス推進事業……………441万円
- 移住定住推進パッケージ……………2,762万円
- 写真美術館再整備事業……………4億299万円
- 新最終処分場整備事業……………15億9,968万円